「春のわくわく実験教室」　5月24日（土）

秋田大学教育文化学部で理科教育を学んでいる学生たちが講師となり、実験教室を開きました。子どもたちは、重曹（じゅうそう）とクエン酸を混ぜ固めてバスボムを作ったり、ペットボトルの中で浮いたり沈んだりするお魚の浮沈子（ふちんし）を見てびっくりしたりと、科学の『わくわく！』や『ふしぎ～！？』をたっぷりと味わっていました。